結成20周年
新たな大躍進に向け出発！

動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号（動力車会館）
電話（鉄電）千葉 2935・2939番
（公）043（222）7207番
2000.5.24 No. 5138

沖縄サミット粉砕！ 森自公政権打倒！ 石原発言弾劾！

5・28全国総決起闘争に起とう！ その3

五月一三日からの、沖縄現地闘争を派遣団一一名は全力でやりぬいてきた。三日間という限られた行動であったが、沖縄県民がおじいさん、おばあさん、そして子どもたちにいたり、沖縄の未来を案じ、日本・アジアの平和の実現を願い、真剣に行動をおこしている姿にものすごい〝衝撃〟を受けて帰還した。そして現地でも集会・交流会で「沖縄の叫びに応え、図太く長くたたかい続ける」ことを誓った。当面する総行動は、五・二八全国集会である。動務外組合員は全員集まろう。

この力で七月沖縄サミット＝戦争会議反対の大きな渦を巻きおこそう。

サミットとは

そもそもサミットとは何か、はっきりさせよう。

昨年はドイツのケルンでサミットが開かれた。そこでは六千から七千人ものユーゴ人民を虐殺し、百数万の難民を生み出したアメリカとNATO軍の爆撃を「人道的介入」と称して賛美し、「世界」の名をもって、それを正当化した。ユーゴを「ならずもの国家」と決めつけ、それを口実に戦争をしかける。その主導権を誰が握るかを競い合ったのである。まさに帝国主義者どもによる戦争会議、それがサミットである。

沖縄サミットとは

沖縄サミットの最大の政治的課題は、中国の大乱・危機をにらんで、中国の〝利権〟をどこの国が握るのか、その軍事的主導権を誰が握るのか、八ヵ国どうしが激しくぶつかりながら、利害調整をやるというのである。

北朝鮮や中国を「反人道的国家」とレッテルをはり、ヤリ玉にあげ、「これを懲らしめる」と言って戦争準備の競い合いをする会議、それが沖縄サミットの主要な目的なのだ。

さらには、サミット構成団体、世界中の圧倒的多数の「貧しい国々」に対し、高利貸し的に金を貸し付け、その国々は利子さえ払えなくなっている。その結果、多くの国民が飢えている状態である。「サミットを憎々しく思っている人々」は世界中に広がっている。だから「テロリストからサミットを守ろう」などと、大々的な「警備」を敷き、期間中の航空機やホテルをおさえ一般観光客もろとも締め出そうという前代未聞の暴挙に出ているのである。

世界中の「反サミット」をかかげる人々と連帯し、サミットにNOをつきつけよう。

政府のねらいは、名護市・辺野古への米軍基地のおしつけ

七月沖縄サミットで、アメリカは「沖縄の基地の重要性を示すよい機会だ」（クリントン二月一八日の発言）と、はっきり言っている。

日本政府も、「名護での開催」という事実が示す通り、辺野古への海兵隊航空基地建設をごり押しするために岸本市長や一部土建屋を抱き込み「サミットの経済的効果」なるデマをふりまき、反対運動を封じ込め、さらには、沖縄県民の根強い反戦の意識・願いと行動を解体一掃しようとしているのだ。

いま県内には、「サミットを成功させよう」なるステッカーが行政や一部の者によって貼りめぐらされている。こうした者たちは、札束に群がり、沖縄の反戦平和の魂を売り渡し、県民を総奴隷化、総愚民化に追い込もうとしているのだ。断じて許してはならない。

いま沖縄県民は、歴史の重大な試練のなかで、敢然と新たな闘いにたちあがろうと懸命に頑張っている。われわれ本土労働者は沖縄県民の叫びに応え、ともにたちあがる時を迎えている。五・二八に全力で結集しよう。

沖縄サミット粉砕！
森自公政権粉砕－石原都知事打倒！

五・二八全国総決起闘争

《沖縄から》　まよなか　しんやさん
《石原発言弾劾》　林歳徳さん
　　宮崎学さん
《衆院選へ》　長谷川英憲さん
とき・五月二八日（日）正午
場所・芝公園二三号地
主催・反戦共同行動委員会

指定列車
［第一陣］千葉駅7番線
10時35分発快速
［第二陣］千葉駅9番線
12時00分発快速